

縮小社会研究会 第60回研究会



日時：2022年1月17日、19:30-21:00

オンライン(zoom)

<https://us02web.zoom.us/j/84470870957?pwd=NXVwa2xDSXZlR1NKRnhXN2I3M2ltUT09>

パスコード: 3189340 ミーティング ID: 844 7087 0957

人類の生存のベースは食料とエネルギーです。しかし、2020年度の日本の食料自給率は37%（カロリーベース）です。気候変動、災害、戦争などで、輸入が滞ることはあり得ます。現に最近ではコロナ禍で19カ国が輸出規制の動きを見せました。また、日本は、アメリカ、ブラジル、カナダ、オーストラリアなど遠い国から輸入しているので、輸送も大きな課題です。今回は、輸入量と輸送距離の積であるフード・マイレージについて、中田哲也さんに話題提供していただきます。

フード・マイレージについて

講師：中田哲也（ウェブサイト「フード・マイレージ資料室 <https://food-mileage.jp/>」主宰）

講演要旨：日本の輸入食料のフード・マイレージ（輸送量×輸送距離）は主要先進国の中で突出しており、日本が行っている大量・長距離の食料輸送が地球環境に相当の負荷を与えていることを示しています。

フード・マイレージを意識することは、日々の食生活が地球環境と関わっていることに気づくこととなり、地産地消、旬産旬消、なるべく食べ残しはしないといった行動変容につながっていくことが期待されます。



中田哲也さんの略歴：1960年徳島市生まれ。82年4月農林水産省入省。2001年4月～03年6月の間、農林水産政策研究所において篠原孝所長（当時。現衆議院議員）下でフード・マイレージに関する研究に従事。現在は農林水産省統計部勤務（再任用）。著書に「フード・マイレージ—あなたの食が地球を変える（新版）」（2018年、日本評論社）など。

参加登録：松久 (h.matsuhisa@shukusho.org) まで連絡願います。非会員の方は、松久まで氏名と所属などをお知らせ願います。参加費は無料です。